

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】令和1年8月15日(2019.8.15)

【公開番号】特開2018-4983(P2018-4983A)  
 【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-001  
 【出願番号】特願2016-132392(P2016-132392)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/08 3 8 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月3日(2019.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現像装置の枠体と、

現像剤を担持する現像剤担持体と、

前記現像剤担持体を回転可能に支持する軸受部材と、

前記枠体に設けられた貫通穴を貫通するように設けられた、導電性を有する固定部材と

、  
前記軸受部材に対して固定され、前記固定部材と係合する、導電性を有する樹脂部材と

を有する現像装置の再生産方法において、

前記固定部材と前記樹脂部材の係合を解除し、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離し、

現像装置に用いられる部品の交換、または、現像装置への現像剤の補充を行い、

前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に連結し、

導電性を有する固定部材を前記貫通穴に挿入することで前記樹脂部材と係合させ、前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させることで、前記軸受部材を前記枠体に対して固定し

前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離させた後、再び、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させる際、前記樹脂部材と前記固定部材の少なくともいずれか一方に導電性を有する導電部材を付着させることで、前記樹脂部材と前記固定部材の間に前記導電部材を介在させることを特徴とする現像装置の再生産方法。

【請求項2】

前記現像装置は、さらに前記現像剤担持体に担持される現像剤の量を規制する規制部材を有し、

前記固定部材は、前記規制部材を前記枠体に固定することを特徴とする請求項1に記載の現像装置の再生産方法。

【請求項3】

前記樹脂部材と前記規制部材は、前記固定部材を介して電氣的に接続され、

前記樹脂部材に電力を供給することで、前記規制部材に電力を供給することを特徴とする請求項2に記載の現像装置の再生産方法。

## 【請求項 4】

前記導電部材は、グリスであることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の現像装置の再生産方法。

## 【請求項 5】

現像装置の枠体と、  
現像剤を担持する現像剤担持体と、  
前記現像剤担持体を回転可能に支持する軸受部材と、  
前記枠体に設けられた貫通穴を貫通ように設けられた固定部材と、  
前記軸受部材に対して固定され、前記固定部材と係合する樹脂部材と、  
を有する現像装置の再生産方法において、  
前記固定部材と前記樹脂部材の係合を解除し、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離し、  
現像装置に用いられる部品の交換、または、現像装置への現像剤の補充を行い、  
前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に連結し、  
固定部材を前記貫通穴に挿入することで前記樹脂部材と係合させ、前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させることで、前記軸受部材を前記枠体に対して固定し、  
前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離させた後、再び、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させる際、  
前記固定部材を加熱することで、  
前記固定部材と接触する前記樹脂部材を溶かし、再度、固めることで、前記固定部材と前記樹脂部材とを固定することを特徴とする現像装置の再生産方法。

## 【請求項 6】

前記現像装置は、さらに前記現像剤担持体に担持される現像剤の量を規制する規制部材を有し、  
前記固定部材は、前記規制部材を前記枠体に固定することを特徴とする請求項 5 に記載の現像装置の再生産方法。

## 【請求項 7】

前記樹脂部材と前記固定部材は、導電性を有し、  
前記樹脂部材と前記規制部材は、前記固定部材を介して電氣的に接続され、  
前記樹脂部材に電力を供給することで、前記規制部材に電力を供給することを特徴とする請求項 6 に記載の現像装置の再生産方法。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明である現像装置の再生産方法は、  
現像装置の枠体と、  
現像剤を担持する現像剤担持体と、  
前記現像剤担持体を回転可能に支持する軸受部材と、  
前記枠体に設けられた貫通穴を貫通するように設けられた、導電性を有する固定部材と  
、  
前記軸受部材に対して固定され、前記固定部材と係合する、導電性を有する樹脂部材と  
、  
を有する現像装置の再生産方法において、  
前記固定部材と前記樹脂部材の係合を解除し、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離し、  
現像装置に用いられる部品の交換、または、現像装置への現像剤の補充を行い、  
前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に連結し、

導電性を有する固定部材を前記貫通穴に挿入することで前記樹脂部材と係合させ、前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させることで、前記軸受部材を前記枠体に対して固定し

、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離させた後、再び、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させる際、前記樹脂部材と前記固定部材の少なくともいずれか一方に導電性を有する導電部材を付着させることで、前記樹脂部材と前記固定部材の間に前記導電部材を介在させることを特徴とする。

また、上記目的を達成するために、本発明である現像装置の再生産方法は、  
現像装置の枠体と、

現像剤を担持する現像剤担持体と、

前記現像剤担持体を回転可能に支持する軸受部材と、

前記枠体に設けられた貫通穴を貫通ように設けられた固定部材と、

前記軸受部材に対して固定され、前記固定部材と係合する樹脂部材と、

を有する現像装置の再生産方法において、

前記固定部材と前記樹脂部材の係合を解除し、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離し、

現像装置に用いられる部品の交換、または、現像装置への現像剤の補充を行い、

前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に連結し、

固定部材を前記貫通穴に挿入することで前記樹脂部材と係合させ、前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させることで、前記軸受部材を前記枠体に対して固定し、

前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体から分離させた後、再び、前記軸受部材と前記樹脂部材を前記枠体に対して固定させる際、

前記固定部材を加熱することで、

前記固定部材と接触する前記樹脂部材を溶かし、再度、固めることで、前記固定部材と前記樹脂部材とを固定することを特徴とする。